

香取の障がい者と雇用

～香取の年輪ネットワーク創り～
第8号

社会福祉法人ロザリオの聖母会

障害者就業・生活支援センター

香取就業センター

〒289-2241

千葉県香取郡多古町多古694

TEL 0479-74-8331

FAX 0479-74-8332

E-mail katori-sc@rosario.jp

平成24年4月

新年度を迎えての挨拶

香取就業センター開所してはや1年が過ぎました。

平成24年度の2年目を迎えるにあたってご挨拶をさせていただきます。
最近、読んだ本の中にこんな言葉がありました。

「自分を成長させてくれるのは、『お前なら大丈夫だ』と言ってくれる安心屋さんと『このままじゃだめになるぞ』と言ってくれる緊張屋さんの2つのタイプです。」

この文章を読んだときに、香取就業センターの役割だなと思いましたし、地域の中でこういう存在になりたいなという想いになりました。

私たちの仕事は、障害のある方等の「働くこと・働き続ける事」の支援をする仕事です。この1年の間は、とにかく一人でも多くの方に知っていただきたい！そして就職者を出したい！という想いで突っ走ってきたように思います。今、振り返ると「あの時こうしていればよかったかな・・・」「もっと積極的にPRできれば、次に進んだかな・・・」「相談者の人生に関わる仕事として、一生懸命やったけれども、本当にそれが正しかったのか・・・」等と反省や自問自答を繰り返す事がたくさんありました。それでも障害のある方等からはもちろん、ご家族様、事業主様、関係機関の皆様から、就職支援に関してや雇用管理について等いろいろな方からの相談が入るようになりました。本当に嬉しく思っています。ありがとうございます。

このように思えるのも、香取就業センターを支えてくれた、応援してくれた皆様とのつながりがあったからこそなんだなと思っています。この1年の中で、私どもにとっても、香取就業センターにとっても「安心屋さん」「緊張屋さん」がおりました。時には、話をよく聴いてくれて、時には背中を押してくれて、時には厳しく指導を頂いたこともありました。人のつながりから生まれる事、気が付く事、学ぶ事は非常に多く、就業支援を行っていると感じています。様々な年代の方、役職の方、業種の方等とお話をしたり、協力して何かを創りあげたりという事もありました。異なる立場の人たちとの交流が新しい視点を与えてくれるんだと教えていただけたように思います。自分たちだけの枠にとらわれず、経験や人脈をつくり成長機会を更に作っていきたいと思っています。

そしてそんな想いと同時に相談に来られる方々に対し、香取就業センターが「安心屋さん」と「緊張屋さん」となり、共に成長していけるセンターとなれるよう平成24年度も香取圏域で就業・生活支援を行っていきたく思います。どうぞ今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。

平成24年4月

障害者就業・生活支援センター
香取就業センター 立花 沙由里



平成24年度 第1回 職場定着の為の勉強会のご案内

日時:平成24年5月26日(土) 13:30～16:00 (受付開始13:00～)

場所:佐原中央公民館 大会議室

内容:働き続ける為に大切な事「金銭管理」について

講師:円心司法書士事務所代表 司法書士 植野玄治 氏

お問合せ:香取就業センター (0479-74-8331)

職場定着の為の勉強会の趣旨について

①余暇活動の充実 ②職場定着の学習 ③仲間同士の交流
を目的とした勉強会です。

例えば「身だしなみ」「ビジネスマナー」「ストレスマネジメント」等、安定した職業生活を送る為に必要と思われる内容を取り上げ、その内容に合わせた講師をお招きし講義を頂きます。

グループワークの中では、発言できる機会を設けて自分が感じた事等を表現する練習の場でもあります。

平成23年度 ネットワーク強化・充実事業(千葉県委託事業)
第2回 障がいのある方の雇用と就業に関しての
地域意見交換会 In 香取

平成23年3月17日(土) 神崎ふれあいプラザ

地域意見交換会の趣旨

- ①平成23年度の活動報告。
- ②平成24年度の当センターの目標の報告。
- ③香取圏域の就労支援におけるニーズや課題の検証と職域開発について



年度末の忙しい最中にも関わらず当事者の方、支援者方、企業の人事担当の方、特別支援学校の先生等、障がいのある方の就労支援に関する総勢27名の方の御参加を頂きました。

参加された皆様の熱心な思いを中心とした活発な意見交換を実施する事が出来ました。

‘第2回障がいのある方の雇用と就業に関しての地域意見交換会In香取’
における講演内容と、参加者同士の意見交換の内容について報告をさせていただきます。

福島県被災地応援
缶バッジをプレゼン
トしました!!



基調講演

国立がん研究センター東病院での障がいのある方の雇用の取組みについて

独立行政法人 国立がん研究センター東病院 ジョブコーチ 長澤 京子 氏

ご講演の
ポイント!!

東病院ではがん克服に向けた医療技術の創造と患者様の人権を最優先とした診療に取り組んでいます。今回は企業内のジョブコーチとして御活躍されている長澤京子様より講演頂きました。医療・福祉分野での障がい者雇用が推進されている中で、数多くのユニークな取組みや必要な視点等をお話しいただく事が出来ました。

- 障害のある方への業務の切り出しについては独自の取組みを創り出す姿勢を大切にすること。
- 病院内では障がいのある方でもできると思われる業務がたくさんある。取扱い方を教えていく事で注射針の業務も行える。
- 企業アセスメントの重要性について。企業の情報が土台にあり、初めてマッチングが成立する。
- 病院内の職員である事に自覚を持ってもらう事。自分自身の存在価値を感じてもらう事が定着へ結びつく。
- 病院内の清掃業務や環境整備など障がいのある方が行った業務を数値化しデータとして結果を提示すること。

会社全体にその仕事の成果を示す事で存在意義を表す。等々…。

香取圏域の中でも医療分野での雇用の可能性を感じる事ができました。参加者の方からも「もっと長く話を聴きたかった」「大変わかりやすく具体的なお話だった」等の声が上がりました。また、今後の地域創りを進める中でヒントをたくさん頂く事が出来ました。

意見交換会

① 障がいのある方の職域開拓について

事業所同士の連携や情報交換から開拓に繋がる事、一般求人情報を基に企業さんへ入り込む事等開拓する方法は様々である。また、働く現場で困っている事を聞き取りながら業務を切り出して行く事も大切な事。全く異なる業種の者同士の繋がりや、会話から新しい発見や考え方が学べる。



② 医療や福祉での現場における雇用について

他の職種と異なる点として障がいに対する配慮を頂ける事。それによって安心して働くきっかけにも繋がる。ほとんどが掃除・営繕等の業務が多いが、その他の多くの業務【看護助手 医療器具取扱い等】が遂行できる事に気付けた。

③ その他

- ・現在圏域内で活躍しているジョブコーチに感謝している (企業より)。
- ・就労移行支援事業所等の役割は、人としての素直さや社会人としての基本的な姿勢を学ぶ場所。また、豊かな人間性を育む場所だと考えている。(就労移行支援事業所より)

立場は違っても想いは一緒。だから楽しく語り合える。この様な職域を超えたネットワークを活用していく事で障がいのある方の雇用、就業の可能性も広がっていく。こんなネットワークを大切にしていければきっと素晴らしい物が創れると実感しました。



《編集コラム》

私達が喜ぶすべての物に歴史や文化があります。

日本の言葉の中に『温故知新』という言葉があります。辞典で調べると、古い物を尊重し新しい物を創ると意味しております。

私達は、今後の活動を展開していく中で、過去の歴史を学ぶ事、これまでの取組んでこられた方の想いを理解する事等が大切であると思っております。何かの決断・判断する上でのヒントとなる事もあります。

『これまで香取圏域の歴史や文化に目を向ける事に心掛け、私達が出来る新しい取組み創り出していきたい。』

平成24年度はそんな事に心掛けながら仕事をしていきたいと考えています。

香取圏域の資源として皆様・企業様・関係機関の皆様への一助となれる様、精一杯取り組んで参りたいと考えております。また、皆様からの掲載にあたってのご意見や要望がございましたら是非ご連絡ください。

香取就業センター
スタッフ一同

